

前川ゼミ前期まとめ

私の学びたかったこと

- 教育 ×
 - 地域住民
 - 地域学習
 - タブレット学習
 - ICT教育

- 2年生前期は主に「教育 × タブレット学習」の情報収集のみ

得たもの・学んだこと

- A:訪れた学校は3校(小学校1つ 中学校1つ 高校1つ)
- B:授業見学・先生生徒から話を聞く

- A:小・中学校では授業でタブレットが使われていた。
- B:教育現場ではそこまでタブレットの使い方が浸透しておらず、先生方も多面的な活用を希望していた。

ICT教育がもたらすメリット

- 幾つか学校訪問や教員との交流をする中で分かったメリットは、
- 1: 図表や資料集には載り切らなかった情報が沢山調べられる
- 2: タブレット一台で絵や図を書くことが出来る
- 3: オンライン上で職業体験ができるためたくさんの職種の人と繋がれる
- 4: タブレットを持ち帰ることが出来たら、家でも通常通りの授業ができる。

単元案

- タブレットが出来る機能を最大限生かすために、「撮影・共有・発信」の3点を単元案に含めることが良いと考えた。

「撮影」: 体育で自分の様子を撮影する・他班の研究結果を撮影する
発表の様子を撮影するetc..

⇒見えない部分を確認且つ長期的に保存する。

単元案の続き

- 「共有」:画面共有する・タブレットで一括保存するetc..

⇒全員の考えが一度に確認できる。

「発信」:考えを発信・発信情報を取り消せない、情報モラルを学ぶetc..

⇒ただ授業で生かすだけでなく一生付き合い合っていくものであるためルールを同時に教えていく。

単元案のまとめ

- 「撮影・共有・発信」のどれかが単元案に、また単元目標に含まれるだけでICT教育は格段に実のあるものになるのではないかと考えた。
- 先生等の教える側がICT教育で育ってきていないため、講習会などでは情報がつかめないのも問題のひとつだと考えた。

まとめ・後期の目標

- 学校見学を引き続き行い続ける
- 単元案・本時案の作成をする
- 実際にそれを行える環境探しや、現役の教師の意見を集める